

## 危険物取扱者 [乙種・性消(第1類危険物)・正誤(6)]

---

<一問一答>

正しい文章には○を、誤っている文章には×を、それぞれ記号で答えよ。

- (1) 第1類の危険物は可燃性である。【 】
- (2) 第1類の危険物には水と反応し酸素と熱を発生するものがある。【 】
- (3) 第1類の危険物はガス抜き口のある容器に保存する。【 】
- (4) 亜塩素酸ナトリウムは強酸との接触を避けて取り扱う。【 】
- (5) 硝酸塩類の火災には、水を放射する。【 】
- (6) 塩素酸カリウムを加熱すると、最終的に塩化カリウムと酸素になる。【 】
- (7) 塩素酸ナトリウムは黄褐色の結晶である。【 】
- (8) 塩素酸アンモニウムはアルコールによく溶ける。【 】
- (9) 塩素酸バリウムを可燃物と混合して燃焼させると、炎は緑色を呈する。【 】
- (10) 過酸化ナトリウムを加熱する場合は、白金るつぼを用いる。【 】
- (11) 臭素酸カリウムはアセトンによく溶ける。【 】
- (12) 硝酸ナトリウムは潮解性がない。【 】
- (13) ヨウ素酸ナトリウムは水によく溶ける。【 】
- (14) 重クロム酸カリウムは橙赤色の結晶である。【 】
- (15) 三酸化クロムの水溶液は腐食性の強い酸となる。【 】

## 危険物取扱者 [乙種・性消(第1類危険物)・正誤(6)]

<一問一答>

正しい文章には○を、誤っている文章には×を、それぞれ記号で答えよ。

- (1) 第1類の危険物は可燃性である。 【×】  
第1類の危険物是不燃性である。
- (2) 第1類の危険物には水と反応し酸素と熱を発生するものがある。 【○】  
アルカリ金属の過酸化物は水と反応する。
- (3) 第1類の危険物はガス抜き口のある容器に保存する。 【×】  
容器は密栓する。
- (4) 亜塩素酸ナトリウムは強酸との接触を避けて取り扱う。 【○】  
亜塩素酸ナトリウムは酸と接触すると爆発性のガスを発生する。
- (5) 硝酸塩類の火災には、水を放射する。 【○】  
注水して消火するのが効果的である。
- (6) 塩素酸カリウムを加熱すると、最終的に塩化カリウムと酸素になる。 【○】  
加熱により分解し、最終的に塩化カリウムと酸素になる。
- (7) 塩素酸ナトリウムは黄褐色の結晶である。 【×】  
塩素酸ナトリウムは無色の結晶である。
- (8) 塩素酸アンモニウムはアルコールによく溶ける。 【×】  
アルコールには溶けにくい。
- (9) 塩素酸バリウムを可燃物と混合して燃焼させると、炎は緑色を呈する。 【○】  
炎色反応。バリウムは緑色。
- (10) 過酸化ナトリウムを加熱する場合は、白金るつぼを用いる。 【×】  
加熱して融解した過酸化ナトリウムはプラチナをおかす。
- (11) 臭素酸カリウムはアセトンによく溶ける。 【×】  
アセトンには溶けない。
- (12) 硝酸ナトリウムは潮解性がない。 【×】  
潮解性がある。
- (13) ヨウ素酸ナトリウムは水によく溶ける。 【○】  
水によく溶ける。
- (14) 重クロム酸カリウムは橙赤色の結晶である。 【○】  
橙赤色の結晶である。
- (15) 三酸化クロムの水溶液は腐食性の強い酸となる。 【○】  
水溶液は腐食性の強い酸であるクロム酸になる。